

『ザ・スター 美空ひばり』

フジテレビ × フジパシフィック × ティ・ジョイ

新規 ODS 共同プロジェクト

～シニアファン向けに平日の映画館への来場提案～

株式会社ティ・ジョイ(東京都中央区:代表取締役社長 岡田 裕介)は、フジテレビ、フジパシフィックとの共同で全国の映画館向けの新規 ODS プロジェクトを立ち上げます。フジテレビ、フジパシフィックが権利を有する往年の人気コンテンツを、劇場用に再編集し上映します。特にシニアファンが平日午前中の時間帯に映画館に足をお運びいただける絶好の機会となります。

その皮切りが「ザ・スター」です。フジテレビが昭和 50 年代に放送した歌謡番組「ザ・スター」は、毎月 1 人(組)のアーティストに焦点を当て、月 4 回のレギュラー番組をワンマンで行うという斬新な番組構成で人気を博しました。その映像素材は、楽曲をじっくり聞かせることはもちろん、普段見ることのできないアーティストの素顔が垣間見ることができるという意味でも非常に貴重な映像となっています。この貴重な番組映像を映画館での上映用に再編集し、まさにアーティストがそこに存在するかのような雰囲気の中でじっくりと楽曲に浸ることができる、そんな全く新しい映像エンタテインメントです。

ぜひこぞって映画館にお越しください。

記

『ザ・スター 美空ひばり』とは

★フジテレビの倉庫に眠る、お宝映像発見！伝説の芸能生活 35 周年時代が蘇る。

昭和 50 年代にフジテレビ関東ローカルでのみ放送されていた伝説のテレビ番組「ザ・スター」。その第一回ゲストとして放送されたのが、その年、芸能生活 35 周年を迎えた美空ひばり。番組では、昭和 56 年 4 月 1 日から 5 週にわたり、美空ひばりの唄をあますことなく放送した。それから 32 年の時を経た今、未公開部分を含むすべての収録テープが発見。

★全 29 曲の熱唱ライブ！テレビで1度だけ歌った未発売曲も収録！

「リンゴ追分」「東京キッド」「港町十三番地」「悲しい酒」などの名曲をはじめ、泣きながら歌う「波止場だよ、お父つあん」、さらに、この「ザ・スター」のみで1度だけ歌った未発売曲「ウォーク・アウェイ～思い出は涙だけ～」など、全 29 曲の超貴重スタジオライブと共に、当時は放送されなかったお宝映像などが収録されている。

★65歳になった当時の番組ディレクターが監督に挑む！

当時の番組ディレクターだった上原徹が 32 年の歳月を経て再び演出を務め、自身初となる映画監督に挑む。最先端デジタル技術を駆使し 30 年以上眠り続けた古いテープが鮮やかに復活。

★25回忌となる今年、永遠の歌姫・美空ひばりが、不死鳥のように蘇る！

■収録曲(全 29 曲)

「哀愁出船」「哀愁波止場」「ウォーク・アウェイ～思い出は涙だけ～」「越後獅子の唄」「おまえに惚れた」「母さんギター」
「角兵衛獅子の唄」「風が泣いてる」「風の流れに」「悲しい酒」「悲しき口笛^{けん}」「剣ひとすじ」「芸道一代」「恋女房」「津軽のふるさと」
「月の夜汽車」「東京キッド」「怒濤の男」「波止場だよ、お父つあん」「花笠道中」「ひとすじの道」「ひばりの佐渡情話」
「ひばりの花売娘」「ひばりのマドロスさん」「ひばりの渡り鳥だよ」「港町十三番地」「柔」「リンゴ追分」「私は街の子」
(50音順)

<上原徹 コメント>

【ザ・スター】という番組を始めるにあたり、“日本歌謡界最大のスター”美空ひばりさんの出演は不可欠と考えた私は、出演交渉のため昭和56年1月末に青葉台の“ひばり御殿”を訪れ、当時病気療養中であつたお母様から“よろしく頼みます”という快諾を戴いた。30分番組5週分を1日で、というスタッフにも出演者にも過度の無理を強いるハードな収録スケジュールのもと、じつに16時間をかけ、リハーサルを含め、約70曲を見事に歌いあげたひばりさん。そのプロフェッショナル然とした姿勢は、まさしく“ザ・スター”そのもの。そんな背景を頭の片隅においてご覧戴き、“稀代のザ・スター”美空ひばりさんを体感して戴きたい。

【出演】 美空ひばり

【ナレーション】 玉置宏

【監督】 上原徹

【配給】 ティ・ジョイ

【協力・写真提供】 ひばりプロダクション

【協力】 日本コロムビア タバタ音楽事務所

【製作】 フジテレビジョン FUJIPACIFIC MUSIC

(C)フジテレビジョン FUJIPACIFIC MUSIC

6月8日～6月24日 新宿バルト9 ほか全国公開

以上

本件に関するお問い合わせ

株式会社ティ・ジョイ 東京都中央区銀座3-10-7 銀座東和ビル4F
エンタテイメント事業部 原 TEL:03-3248-8173 FAX:03-3248-8176